

J BMC新潟ラウンド(JBMC-NIIGATA) 2017 Q&A

○このコンテストの特徴は

他のビジネスプラン・コンテストとは異なり、ビジネスモデルの立案と仮説検証に重点を置いています。ビジネスモデル・キャンバスなどのツールを活用し、仮説の明文化そして顧客や関係者に直接会っての仮説検証などを行いながら「起業できる」ビジネスモデルの策定プロセスが評価されます。

○他のビジネスモデルやビジネスプラン・コンテストへ同時に応募してもよいですか。

同時に応募することは差し支えありません。

○他のコンテストで受賞したプランと同様のプランで応募してもよいですか。

応募いただいて構いません。ただし、ビジネス「モデル」コンペティションですので、アイデアの良さや事業計画の緻密さではなく、仮説検証がきちんとされているかどうかの評価される点に留意ください。

○応募いただいたビジネスモデルの公開について

提出されたビジネスモデルの応募書類は、審査員以外には非公開とします。ただし、第2次審査は、公開プレゼンテーションを行っていただきますので、ビジネスモデルの内容が一般に公開されます。特許・実用新案権などの知的財産権、企業秘密やノウハウなどの情報の法的保護については、応募者の責任において対策を講じたうえで応募ください。

また、TVや新聞の取材、ICLOVE、(株)北越銀行、南魚沼市のウェブサイト等に、概要及び顔写真が掲載されることがあります。あらかじめご承知おきください。

○英語での参加は可能ですか

応募書類及びプレゼンテーションは、日本語及び英語どちらでも可能です。ただし、インターナショナル・ビジネスモデル・コンペティション (IBMC) への応募書類及びプレゼンテーションは、英語のみとなります。

○社会人は参加できますか

社会人の発表及び質疑応答への参加は可能です。しかし、インターナショナル・ビジネスモデル・コンペティション (IBMC) は、社会人の発表及び質疑応答への参加はできませんので、あらかじめご承知おきください。

○第1次審査について

第1次審査は、書類審査です。ビジネスモデル・キャンバスの添付を推奨しておりますので、事業構造を9つの要素(提供する価値、コスト構造、主要パートナー、主要資源、主要な活動、収益構造、顧客セグメント、顧客との関係、顧客チャネル)に分解し、ビジネスモデルを視覚的にとらえることができる企画書を添えてください。

★参考図書：アレックス・オスターワルダー、イヴ・ピニユール著、小山龍介訳『ビジネスモデル・ジェネレーション』(翔泳社 2012年) <http://www.hivelocity.co.jp/blog/9820>

○第1次審査の結果はどのように発表されるのですか。

応募いただいたチームの代表者に11月15日頃、メールでお知らせします。

○第2次審査について

第2次審査は、プロジェクターを利用した10分程度のプレゼンテーションです。その後、審査員による質疑が行われます。当日、発表用プレゼンテーションデータ(パワーポイントファイル)をCD-RまたはUSBメモリーに入れ必ずご持参ください。

○参加費について

本コンペティションへの応募、特別セッションへの参加は無料です。応募及び参加にあたっての調査費や交通費などは、応募者ご本人からご負担ください。

○賞金・発表準備補助金の使途について

授与される賞金・発表準備補助金の使途は問いません。賞金・発表準備補助金は、大会後、代表者の口座へお振り込みいたします。